

持続可能な開発目標（SDGs）推進本部会合（第8回）
議事録

令和元年12月20日
官邸2階小ホール

【内閣官房長官】

ただ今から、持続可能な開発目標推進本部第8回会合を開催いたします。
それでは、議事に入ります。

まず、（1）議事1「実施指針改定」、（2）議事2「アクションプラン2020」、（3）議事3「第3回アワード受賞団体」について、和泉総理補佐官から説明をお願いします。

【和泉総理補佐官】

資料1「SDGs実施指針改定版」について御説明いたします。

2016年の策定以来の改定となる本実施指針は、今後4年間のSDGs推進に関する中長期的な戦略となります。300件以上の意見が提出されたパブリック・コメントの結果も反映させつつ、現状分析と今後の推進体制を大幅に加筆しました。

年明け以降、2030年のSDGs達成に向けた「行動の10年」の第一歩を踏み出すべく、本実施指針を着実に実行に移してまいります。

資料2「SDGsアクションプラン2020」について御説明いたします。

1ページ目を御覧下さい。日本の「SDGsモデル」の3本柱である、①ビジネスとイノベーション、②地方創生、③次世代・女性のエンパワーメントに沿って、新たな取組を進めていきます。

2ページ目以降には、実施指針改定版の優先分野に沿った各府省の具体的な取組を掲載しております。

この「アクションプラン2020」に基づき、来年の京都コンGRESS、東京オリンピック・パラリンピック、栄養サミット等の機会を活用し、国内外においてSDGsの取組をより一層推進していきます。

資料3「第3回ジャパンSDGsアワード受賞団体」について御説明いたします。

今回は、過去最多となる378件の応募があり、SDGs推進円卓会議構成員による審査を経て、本部長賞1件、副本部長賞4件、特別賞6件を受賞団体として決定したいと考えています。以上です。

【内閣官房長官】

ただいまの説明に関連して、御発言のある閣僚のみなさまを、順次指名させていただきます。

【若宮外務副大臣】

進捗状況を把握する取組を強化し、実施指針改定版を着実に実行に移すことにより、国連総会で合意したSDGs達成に向けた「行動の10年」の第一歩を踏み出したいと考えております。来年のオリパラや栄養サミットなどの機会に日本のSDGsモデルを積極的に発信したいと考えております。

【麻生副総理兼財務大臣兼金融担当大臣】

SDGs実施指針の初の改定を歓迎します。改定された実施指針のもと、質の高いインフラやUHCの推進、金融経済教育の実施といった、日本議長下のG20での成果を生かし、SDGs達成に引き続き貢献してまいりたいと考えております。

【高市総務大臣】

総務省は、多言語同時通訳や量子暗号通信など社会基盤を支える技術の研究開発を通じSDGs達成に貢献します。また、今般の指針案で重点事項の一つとされたSDG指標の整備は、各省御協力の下引き続き進めます。

【赤羽国土交通大臣】

国土交通省は、社会資本整備や土地利用において、自然環境が有する多様な機能を活用し、持続可能で魅力ある地域づくりを進めるグリーンインフラの取組などを通じて、引き続きSDGsの達成に貢献してまいります。

【河野防衛大臣】

平和と安全・安心社会を実現するため、外国のPKO要員に対し施設・医療分野の能力向上を支援する他、省内において、環境に配慮し、レジ袋の廃止や再生可能エネルギーを活用する電力調達を検討を行って参ります。

【橋本国务大臣】

SDGsの実現にはあらゆる施策へのジェンダーの視点の反映が不可欠であり、閣僚の皆様には、この点も意識して各施策に取り組むようお願いいたします。東京大会での国民参加型の取組を積極的に発信するなど、SDGsを推進してまいります。

【衛藤国务大臣】

消費者担当としては、10月に施行された食品ロス削減推進法に基づく取組を進めるなど、身近なことから消費者の意識と行動の変革を促していきます。海洋政策担当としても、海洋に関するSDG14の達成に向け、海洋基本計画に基づき、関係省庁との連携の下、取り組んでまいります。

【竹本国务大臣】

内閣府としては関係府省と連携しSDGsアクションプラン2020に沿ってSTIFF for SDGsを推進してまいります。特に、国連と連携してインド及びケニアにおけるSDGsの実現に向けたロードマップの策定支援等を行います。

【田中復興大臣】

復興庁では、震災復興の中で強化してきたインフラ基盤やNPO、ボランティアなど多様な主体との連携等を通じて、コミュニティを再生し、持続可能で活力ある社会創りへ引き続き取り組んでまいります。

【加藤厚生労働大臣】

我が国が、来年タイでUHCフォーラム2020を開催し、国連で採択された政治宣言の具体化の議論を行うなど、国内外のUHCの推進に積極的に貢献するとともに、働き方改革や女性活躍等を引き続き着実に推進します。

【梶山経済産業大臣】

先ほどの閣議で、SDGs達成への貢献を目指す2025年の大阪・関西万博の実施計画の提出について決定を頂きました。引き続き、政府一丸となって、SDGsの達成に積極的に貢献してまいります。

【北村国务大臣】

第2期の地方創生に向け、引き続き、SDGs未来都市の選定や官民連携の促進、金融面等での取組を推進する他、来年1月の地方創生SDGs国際フォーラム2020等を通じて、広く国内外へ発信します。

【江藤農林水産大臣】

スマート農業、森林資源の循環利用等、112の施策をアクションプランに積極的に登録しました。現在、検討中の食料・農業・農村基本計画においても、持続可能な生産・消費等、SDGsの考え方を取り入れてまいります。

【武田国务大臣】

持続可能で強靱な国土を創り上げるため、国際的な防災指針である「仙台防災枠組」も踏まえ、国内的にも、国際防災協力の観点からも、防災・減災、国土強靱化の取り組みを推進し、SDGsの達成に貢献してまいります。

【西村国务大臣】

先般閣議決定しました「安心と成長の未来を拓く総合経済対策」では、SDGs実現に向けたイノベーションと社会実装の促進に係る施策を重点的に盛り込んでおります。今後、

対策を着実に実施してまいります。

【森法務大臣】

法務省は、来年4月に開催される京都コンgresにおいて、SDGsの達成に向け、その全てのゴールの基礎となる法の支配や基本的人権の尊重といった基本的価値の重要性を世界各国に向けて力強く打ち出してまいります。

【萩生田文部科学大臣】

① 新学習指導要領を踏まえた持続可能な開発のための教育、ESDの推進、②SDGsのための科学技術イノベーション、STI for SDGsの推進、③東京オリパラ等を契機としたスポーツ・文化の取組により、SDGsの達成に積極的に貢献します。

【小泉環境大臣】

環境省として、SDGs達成に必要な資金を確保するためのファイナンスの観点から、ESGファイナンス・アワードを創設する等、気候変動対策・脱炭素化等を進めるためのファイナンスの強化に取り組んでいます。気候変動、海洋プラスチックごみ、生物多様性、再生可能エネルギー、フードロス削減等、SDGs達成における環境省の役割は非常に大きいものがあります。今後も取組を推進してまいります。

【内閣官房長官】

他に御発言がないようでしたら、「実施指針改定」、「アクションプラン2020」及び「第3回アワード受賞団体」について本推進本部の決定としたいと考えますが、よろしいでしょうか。

(異議なし)

【内閣官房長官】

それでは、本件については、本推進本部の決定といたします。

最後に、総理から御発言をお願いします。

【内閣総理大臣】

2015年に国連で世界を変革するためのSDGsが採択されてから4年。本年は、SDGs達成に向けて重要な節目の年となりました。

6月のG20大阪サミットでは、議長国として、海洋プラスチックごみに関する「大阪ブルー・オーシャン・ビジョン」を始め、様々なイニシアティブを打ち出し、G20を主導しました。

8月のTICAD7では、ユニバーサル・ヘルス・カバレッジの推進など、アフリカの開発と発展に資する日本ならではの取組を力強く推進しました。

他方、9月にニューヨークで開催されたSDGサミットでは、SDGsの進捗状況に遅れが見られる現状に対して、強い危機感が共有されました。

日本国内でも、今年は全国各地で台風や集中豪雨などによる自然災害が相次ぎました。今般の災害で得られた課題や教訓を踏まえ、防災先進国として国土強靱化を更に進めていかなければなりません。

地方の未来なくして、日本の未来なし。SDGsを原動力とした地方創生の旗を引き続き高く掲げ、地方経済を支える中小企業によるSDGsの取組を更に後押しし、SDGsの活力を全国津々浦々に行き渡らせることが重要です。

こうした国内外の情勢を踏まえ、本日、SDGs推進の中長期的な国家戦略であるSDGs実施指針を2016年以来3年ぶりに改定しました。

さらに、SDGs達成に向けた国を挙げた具体的な取組をまとめた、SDGsアクションプラン2020も策定しました。今こそ日本全体が次の大きな跳躍とSDGs達成に向けた「行動の10年」の第一歩を踏み出すときです。

2020年に開催される、京都コンGRESS、東京オリンピック・パラリンピック、アジア・太平洋水サミット、栄養サミット等の機会も活用し、国際社会に日本のSDGsの取組を共有、展開してまいります。

関係閣僚におかれては、2030年に「誰一人取り残さない社会」を実現し、未来を担う次世代の子供たちが将来に向かって頑張ることができる社会を築くため、一丸となって具体的な取組を加速するよう、よろしくお願いいたします。

【内閣官房長官】

以上をもって、持続可能な開発目標推進本部第8回会合を終了します。

(了)